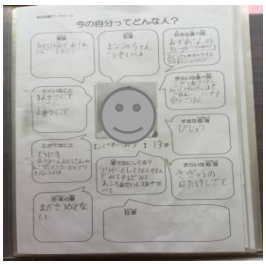
教材・教具の紹介（自作）

1　健康の保持

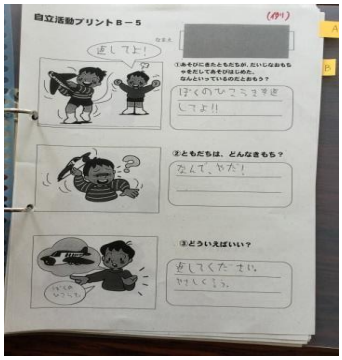
名 称 及び 写 真	ねらい	使い方・アピールポイント等
万歩計	・　卒業後の就労に向けての体力作り。	・本人は、学校生活はもちろん休日も散歩を気にするようになり、ウォーキングに取り組むことができました。

2　心理的な安定

名 称 及び 写 真	ねらい	使い方・アピールポイント等
「今の自分って？」 	・今の自分について項目ごとに整理し、客観的に自分を知ることができます。	・いつでもふり返ることができるようにします。一年後もう一度行い変化を比べてみてもおもしろいと思います！
給食確認表	・給食を食べることに抵抗があるので、本人が気になっていることを視覚化し、わかるようにしました。	・本人の質問に対する説明を、わかりやすく視覚化しました。このシートがあると、落ち着いて座れるようになりました。

3　人間関係の形成

名 称 及び 写 真	ねらい	使い方・アピールポイント等
やさしくタッチ！カード	・自分が日頃どのような行動をしているのかを知り、その行動についてこのカードを見ながら振り返ったり、適切な関わりができるように促すことができます。	・教師集団でこのカードを活用することで、担任以外でも対象児童に対して「優しく、心地よい」関わりをわかりやすく、また統一して伝えることができます。

ソーシャルスキルトレーニング （ＳＳＴ） 絵カード（連続絵カード）のワークシート  	・絵に描かれた状況や人物の感情、言葉のやりとり等について学習をした後で、ワークシートに自分の考えをまとめます。	・文字で書くことで、学習した内容や自分の気持ちを整理しまとめることができます。自分と友達との類似点や相違点を、言葉のみよりも文字で書いてあることで気づきやすいことがあります。教師は子どもの理解度や考え方の特徴を把握する手立てになります。
色々な気持ちと その感情に合った状況絵 	・表情や感情の理解を深めることができます。	・①表情絵カードの神経衰弱（表情に注目し、感情の言葉と一緒に覚えます）②表情絵カードと教師の表情写真のマッチング（人の表情に注目し理解を深めます）③表情絵カードと状況絵カードのマッチング（場面と感情を照らし合わせ考えていきます）④教師によるロールプレイングを見る（状況絵で理解しにくい場面を動画で見ることでより理解しやすくなります）

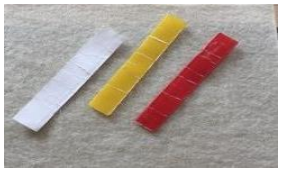
４　環境の把握

名 称 及び 写 真	ねらい	使い方・アピールポイント等
スクーターボード 	・前庭覚、固有覚、触覚、視覚への刺激が与えられます。加速刺激も入力できます。身体像の形成も促します。	・手足を使って自ら進んだり、フラフープを持たせて引っ張ったり、回転させたりして活動を楽しみます。
ミニハードル 	・基本的な運動企画力（足を上げる、またぐ、跳ぶ）を育みます。	・教室内で気軽に取り組め、低めの高さ設定と倒れてもすぐに直せる作りにしてあるため、失敗感や恐怖感を感じにくいです。 ・足を上げる→またぐ→跳ぶといった個々の課題にそって取り組むことができます。

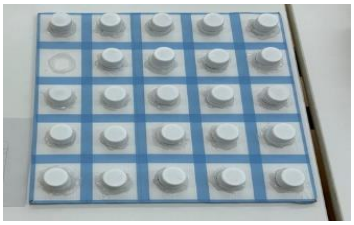
どっちかな？ 	・記銘、記憶、想起、推測の一連の行動を通して、視覚認知や視機能を高めることができます。	・注視や追視といった視機能の力をつけることができ、見えない物を推測し、考える力をつけることができます。 ・見比べる、見分けるといった力をつけることができます。
テーブル琴 	・音との因果関係を理解することができます。	・鈴がついているので音がわかりやすいです。
図と地の弁別課題 	・細部視知覚、視知覚弁別力をつけます。	・環境の把握の（５）認知や行動の手がかりとなる概念の形成に関すること。 ・「〇〇はどれ?」とやりとりしながら取り組んでます。教師の指示に対応する。 ・簡単なものから複雑なものまで段階を進めることができます。 ・物を弁別する力をつけ認知面の向上へ繋がります。
よくみてマッチング 	・細部視知覚力の向上。 ・同じ物でも大きさの違う物の弁別ができます。 ・微妙に形、色が違う物の弁別ができます。	・環境の把握の（５）認知や行動の手がかりとなる概念の形成に関すること。 ・視知覚力をつけることで写真カードの理解にも繋がります。
3 点位置把握 	・キャラクターのカードを使い、位置関係を整理する力を高めます。	・自立活動学習内容要素表の P68～69 の内容です。 ・斜めの位置関係の理解に繋がるのではないかと思います。 ・好きなキャラクターだとやる気アップ！ ・斜めの関係(時計の文字盤等)の理解に繋がれば良いなと思います。

探しだそうアンパンマンと仲間たち 	・図形の違いに気づいて同じ図柄を探し出すことができます。	・教材の材料が手に入りやすく、作り方も簡単なので児童の興味関心に応じて、図柄を変えることができます。 ・注視することや注意の持続時間が高まること、生活における分類の基礎となることを期待しています。
３色　色わけカード 	・「あか」「きいろ」「あお」と発声した後に、同じ色に分けることができます。	・カード取りしやすいように厚みを出すようにした。 ・最初は2色から始めて最終は 3 色の色分けを目指します。

５　身体の動き

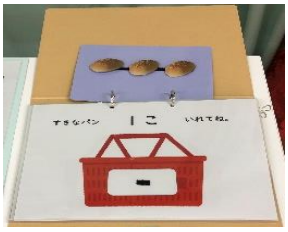
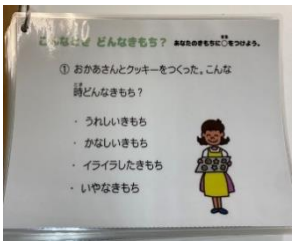
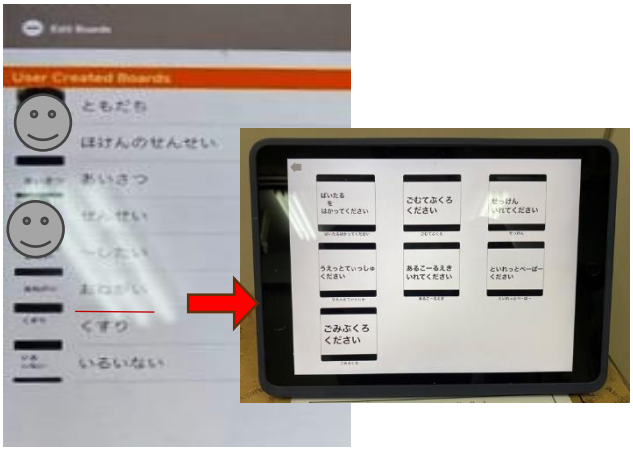
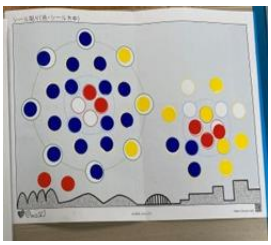
名 称 及び 写 真	ねらい	使い方・アピールポイント等
ひっぱりおもちゃ 	・目と手の協応を促します。 ・手指の巧緻性を高めます。	・引っ張ります。 引っ張る感触がおもしろく、終わりがわかって見通しが持てるようになります。
はがしてスッキリ 	・目と手の協応を促します。 ・手指の巧緻性を高めます。	・少し強めのマジックテープをビリッ！とめくる感覚が味わえます。
ひも通し 	・手指の操作性を高めます。 ・集中力も高めることができます。	・色々な形や色があるので楽しく取り組めます。
靴紐トレーニング 	・手指の巧緻性の向上や靴紐を結ぶ手順を理解、反復するのに有効です。	・紐は付け替え可能となっているため児童に合わせた難易度調整ができます。蝶々結びの練習と靴に紐を通す練習ができます。

フタとめはずし		・手指の操作性を高めます。 ・集中力を高めることができます。	・物をひねったり回したりする力がつきます。
クリップとめはずし		・手指の操作性を高めます。 ・集中力を高めることができます	・クリップの種類は子どもによって変えることができます。クリップをはさむ厚紙に模様や、はさむ型を書いておけばより意欲的に取り組めます。
牛乳パック椅子		・座位のための補助具を使い自分で座れます。（腰ベルトを装着し、座面や腰、背中等必要に応じてクッションを使用）	・製作費用はタダです。子どもの身体に合わせて作ることも簡単です。
ボタン留め外し		・手指の巧緻性を高めることができます。	・ボタンが大小になっていたり、ボタン穴が縦横になっていたりするのでいろんな場面を想定することができ、日常生活動作の練習にもなります。
ワッシャー入れ		・手指の巧緻性を高めることができます。	・目と手の協応動作を高めることもできます。
絵本の中の登場人物（フェルト人形）		・目と手の協応動作の力を高めることができます。	・触りやすい素材で意欲的に触ろうとします。 ・柔らかい素材に触れることで心理的な安定にもつなげられます。
箸つかみ		・手先の動きの向上と箸の練習もできます。	・対戦形式にしても盛り上がります。また、指さしと数詞がずれて数を数えることが苦手な生徒もゆっくり具体物を操作しながら丁寧に数を数えることができました。

くるくるかたつむり 	・目の前にあるものをしっかり見て課題に取り組むことが難しく、また手先を細かく動かし微調整することに課題のある生徒に対して目と手の協応や動きの調整をねらっています。	・スタートとゴールの位置がわかりやすくなっています。 ・友だちと向かい合って持ち、協力してゴールを目指すこともできます。
南京錠開け 	・手元をよく見て開けることができないため、それを取り出したいという気持ちで意欲的に取り組むことを目指します。	・自立活動に意欲的に取り組めるようビーズのキーホルダーや手紙を書くためのボールペンの組み立て、便箋のシール貼り、封筒折りなど好きな先生へのプレゼントに必要なものをそろえていく手順にしました。
ペットボトルの蓋開け閉め 	・手指の力をつけることを目指します。	・たくさんあって十分取り組めます。 ・壊れてもすぐに直すことができます。
バレーボールアタック 	・目と手の協応動作。 ・腕の可動域を拡げる。	・ボールを追視する力をつけたり、関節の可動域を拡げることで、姿勢の改善や体幹を強化できます。

6　コミュニケーション

名 称 及び 写 真	ねらい	使い方・アピールポイント等
吹く練習シリーズ 	・吹く練習により呼気、吸気のコントロール力をつけることができます。	・口に物をくわえるのが苦手な子は、風車やお花紙で練習します。吹く力が弱い場合、お花紙だと少しの息で変化が見えるのでわかりやすいです。

ｉＰａｄでマカトンサインの練習 	・正しいマカトンサインを覚える。 ・できるマカトンサインを増やしたり、言葉とマカトンサインを一致させたりします。	・ｉＰａｄを使うことで意欲的に取り組むことができます。 ・ｉＰａｄを自分で操作することができます。 ・両手を使って教えることができます。
パン〇〇ください 	・教師とコミュニケーションを取りながらできる。	・児童の好きな実物の写真を使用することで学習意欲を持たせることができる。
こんな時どんな気持ち？ 	・自分の気持ちに気づき、イメージします。	・実際に起きた時の対処に繋がります。
〇×意思表示カード 	・することに対して、したい→〇、したくない→×。欲しいものに対している→〇、いらない→×を選んでもらいます。	・カードを見えやすい場所や手の届きやすい場所に提示し〇を見せて「する」、×を見せて「ない」と聞きます。意思表示のきっかけとして活用しています。 ・色々な場所で活用できます。
SoundingBord 	・より多くの人(指文字やマカトンサインがわからない人)に自分の意思が伝わるように、iPad を利用したコミュニケーション能力を高めます。	・児童のコミュニケーション能力に合わせて、言って欲しい言葉や台詞を教師側で自由に作ることができます。 ・文字や音声、写真、イラストを挿入することができます。 ・無料アプリですが、なかなか使い勝手が良いです。
シール貼り 	・指示理解、指示行動。	・花火を作る→「赤を貼ってください」の様な指示を聞いてその色を貼ります。完成図が綺麗なので楽しいです。シールを貼る枠があるので、枠を見ながら手先の動きが必要となります。

復活じゃんけん列車 	・じゃんけん列車で負けて後ろに並んだ子どもでも前の子どもが次に勝った場合、復活して初めから参加できます。少人数でも楽しめる活動です。	・見る活動を少なくする（新たに参加する）ことができます。実際の場面では、前の子どもに「お願い勝って」と応援し、協力し合う様子も見られました。ほぼエンドレスで活動を続けることができます。
平仮名ボード 	・平仮名の読み方、文字を覚えるのに使用しています。	・「雨のあ」など声に出しながら、チップをはめていきます。操作しながら楽しく学習に向かうことができます。
ヒントカード 	・質問に答えてオウム返しで答える生徒に対して自分の気持ちを踏まえた上で、返答できることをねらっています。	・給食は苦手なものも我慢して食べたり、出したりする。嫌いな時には「減らしてください」と言えばいいことがわかるように示しています。 ・生活の中で必要な事柄に絞り活動内容ごとにカードの色を分けている。 ・いつでも使えるようにリングに通してまとめています。 ・受け身で指示された通りに動くし、逆に指示がなければ動かない生徒に対して、ヒントカードを見て自ら動いて他者に発信できるようになってほしい。また、好きなことを自ら選んで楽しめるようになってほしい。
どうぶつ絵あわせゲーム 	・「〇〇くん、△△のしっぽください」など、定型文を使用することで文で話す力や好ましい言葉の使い方を身につける。	・簡単なゲームにすることで楽しんで意欲的に取り組むことができます。最初は手落ちのカードをオープンにし、慣れてくるとカードを隠す等、難易度にも変化をもたらすことができます。 ・日常生活でも「〇〇さん、△△ください。」等と言うように伝えることで相手を意識し、適切な言葉遣いで伝える力がつくと考えます。

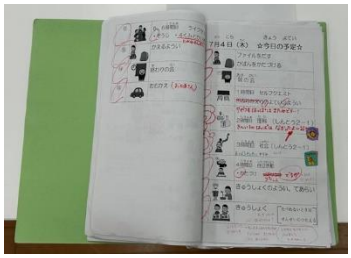
平仮名文字を使いこなすための グッズ３種 	・平仮名習得済みで発語がない生徒が平仮名をコミュニケーション手段の一つとして使えるようになるための教材。	①いろいろな種類の平仮名文字を準備し、興味関心を持続させます。 ②頻繁に使う言葉だがまだ自分で平仮名表の文字を指したりするのが難しい言葉は「カード」にしておく。ラミネート加工の上から書いているのですぐに消せて、新しい言葉にかえることが可能です。 ③iPad は誘惑が多く、遊びになってしまいがちなので iPad アプリの画面を印刷したものでまずは練習します。ラミネートをしているので、丈夫なだけでなく頻繁に使う言葉にはペンで印をつけヒントを与えることができます。すぐに消せるので新しい言葉も即対応できます。

その他

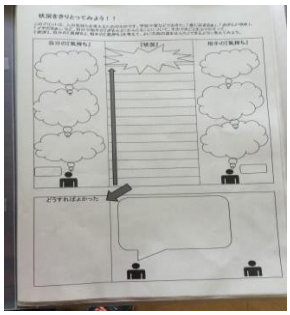
心理的な安定・人間関係の形成

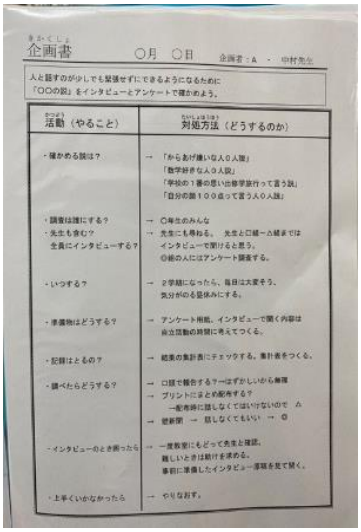
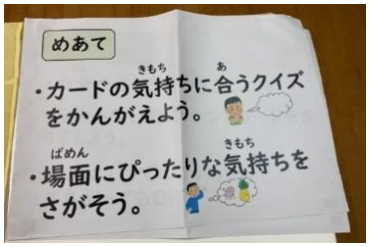
名 称 及び 写 真	ねらい	使い方・アピールポイント等
自分で決める！ 	・切り換えが難しく、教室に入りにくい生徒に対して、見通しをもてるように、そして自分のやりたいことをして楽しむ。そして評価してもらい、自己肯定感を高め集団参加へと繋げていくことをねらっています。	・一日のスケジュールを確認できるページと、一つの授業の中で何に取り組むか、自分で選択し決定し実行。できたら花丸をもらい、達成感がもてるようにしています。 ・高等部では教科ごとに担当教員が変わるので、連携して取り組んでいます。

心理的な安定・コミュニケーション

名 称 及び 写 真	ねらい	使い方・アピールポイント等
1日の予定 	・登校日に１日の予定を確認し、その日の活動に見通しを持つ。１つの活動が終われば教師に〇やコメントをもらうことを楽しみに苦手な活動にも気持ちを向けることができます。	・予定の見通しだけでなく、コミュニケーションツールとしても活用し、自分自身の気持ちや要望を予定表を介してコミュニケーションが図れます。 ・担任だけでなく、授業の担当者とも予定表を介してやりとりができるようになります。
自立活動の個別スケジュール 	・課題やスケジュールを理解し、見通しをもって取り組めます。 ・お楽しみの活動等で教師とのやりとりをします。	・小さなカードは紛失しても大丈夫なようにあらかじめたくさん作りました。 ・このスケジュールを使いながら準備や片付けの指導も行いました。自分から取り組んでくれる場面が増えました。 ・自己調整や自己決定の力を高められることで、より豊かな生活を送れるのではないかと思います。

心理的な安定・人間関係の形成・コミュニケーション

名 称 及び 写 真	ねらい	使い方・アピールポイント等
気になること 	・自己理解、他者理解。	・即時評価、振り返りのツールになります。客観的に自分を見つめることが可能です。
ＳＳＴ （人との接し方、関わり方、色々な約束、ルール） 	・表情理解を通して自分の気持ち、人の気持ちに気付く。気持ちの安定を図り、色々な活動ができます。 ・状況に応じたコミュニケーションが図れます。	・個々の実態に応じて正しい行為等について具体的に示すことで、理解を促しやすくしています。少し操作できる部分を取り入れることで、より注目して聞き、意識できます。自立活動の時間以外においても、すぐ取り出し、振り返られるようにしています。

どうしていこう？ 企画書を作って考える  	・コミュニケーション（言葉での会話）に課題のある生徒に、どうやったら良いかを教師と相談しながら「活動計画」を立て、その中で自身の考えの特徴や状況に応じた対応を具体的に考えていくことをねらっています。	・企画書を協働して作成することで活動の一連の流れで何が起こるのかということに見通しをもつことができます。また、生徒にとって不安である「何か起こったらどうしたら良いのかわからない」ということを話し合う中で、一つ一つ具体的に対処していくことで本人の不安を解きほぐし、「よし、やってみよう」という勇気へと繋げていくことができます。企画書はあくまでも【子ども－企画書－教師】の三項関係を築き会話への緊張と不安を和らげ、同じものに向き合い記録を取りながら進めるためのツールであり、重要なのは提案と交渉を重ね、本人が安心して活動に取り組めるように具体策を一緒に立てることです。
どんな気持ち？  	・小学校自閉、情緒特別支援学級で取り組みました。 ・色々な気持ちの理解、自分の経験を気持ちのカードを使いながら振り返ることができることをねらいました。	・イラストにダジャレをいれたので、クスッと笑える要素があります。（特にマイナスの感情は笑える要素があると気持ちが外在化しやすいそうです） ・自立活動（集団）で単元として取り組み、自分の気持ちを振り返る時や、物語の中で主人公の気持ちを考える時など、自分からイラストの中から探そうとする児童がいました。ワークシートで、①気持ちについて知る（気持ちカード探し）②気持ちクイズ③色んな気持ちワークシート④クイズを作ろう（気持ちぴったんこクイズ）

マッチングシート 	・本生徒の障害特性から視野による支援が有効と考えられます。	・イラスト⇔言葉との双方向での学習が可能です。 ・常に全ての項目を使用するのではなく、状況等に応じて必要なものを選択して使用することができます。 ・学習上のマッチングはクリアしても、例えば「しんどい」とはどのような状態なのかをその場で確認して、本生徒が実感することで般化に向けて定着が可能かを考えられます。

心理的な安定・人間関係の形成・環境の把握・コミュニケーション

名 称 及び 写 真	ねらい	使い方・アピールポイント等
トータス（１０+） 	・友達の対戦式のゲームを通して、注意を持続させ集中して活動に取り組めることを目指しつつ、移り変わるゲームの場面や対戦相手の状況を理解して心理的抵抗を軽減、応援等の相手に配慮した言葉遣いやコミュニケーションを行えるよう教材を設定し実施しました。また数学で身につけた力を活用することで「できた」という意欲やさらなる計算力の向上を図ることができます。	・制作時間はかかるがコストは二百円程度。 ・数字ごとに色を決め視覚的にも判別しやすいよう工夫。 ・足し算と神経衰弱を組み合わせたゲームのため難易度は高いが、その分ゲーム性は高く対象生徒が興味関心を持って取り組むことができている。 ・紙コップを重ねることで「10 のまとまり」や獲得数を視覚的、動作的にも判断しやすい。 ・相手のターンにも、一緒に計算したりカップの位置を覚えたり、主体的にゲームに参加する機会があり、互いに「足したら〇〇だね」等やりとりが生まれています。さらにゲームを優位に進めるためには集中したり注意を持続させたりする必要があるため、生徒が集中している時間が長くなります。 ・コップを重ねる感覚が気持ちいい→片付けも楽しい！

人間関係の形成・環境の把握

名 称 及び 写 真	ねらい	使い方・アピールポイント等
リモコンコンセント （マルチスイッチ化） 	・肢体不自由の児童生徒が、家電機器に近づかなくても家電の電源のオン、オフを行うことができる。また、児童生徒の実態に応じたスイッチを接続することで活動の幅が拡がります。	・リモコンリレーという直接的に家電、機器と接続し、ビックスイッチを活用することができる製品は多くあるが、遠隔で家電製品のオン、オフを行うリモコンコンセントで様々なスイッチを活用できる製品があまり見当たらなかった。また、様々な活動の中で、肢体不自由の生徒が家電製品を扱う際に、コンセントとの距離や安全面、姿勢の問題等、近づいて電源を操作することが困難な状況があるということを知り市販品のリモコンコンセントを改良し、様々なスイッチを接続し使用できるようにした。知的障害のある児童生徒についても、複数あるスイッチの中から選択することが難しい場合でも、シンプルな構造のスイッチに置換することができ操作することができると考えました。

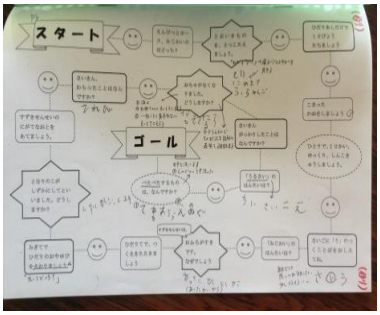
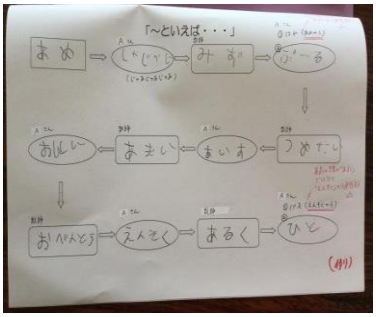
人間関係の形成・環境の把握・身体の動き

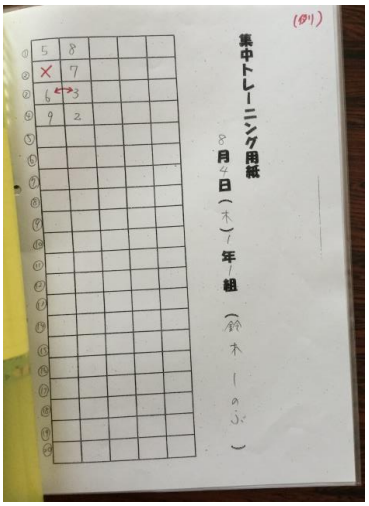
名 称 及び 写 真	ねらい	使い方・アピールポイント等
じゃんけんルーレット 	・「ルーレットを回すために必要な手指の動作の獲得」「じゃんけんの概念の形成」「色やじゃんけんの手の形の判別」等基礎的な概念の形成も図る。他者とのかかわりを拡げ、集団での遊びに参加できることを目指します。	・制作コストがほぼ０円。持ち運びが手ごろなサイズのため、外での活動にも持っていけます。キャップ下部分のストロー部分の長さを調節することで回転強度を調整できます。

人間関係の形成・身体の動き

名 称 及び 写 真	ねらい	使い方・アピールポイント等
ヤカーリング	・的をねらって友達とゲームを楽しむことや的に近づけるための力加減を考えることをねらっています。	・軽いので少しの力で動かすことができ、誰でも楽しむことができる。傾斜をつけると車いすの児童生徒も扱うことができます。

人間関係の形成・コミュニケーション

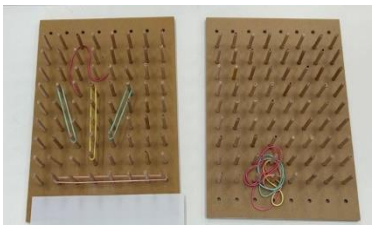
名 称 及び 写 真	ねらい	使い方・アピールポイント等
ソーシャルスキルトレーニング（ＳＳＴ） すごろく 	・すごろくゲームを通じて、ＳＳＴの学習を行います。	・子どもは楽しいゲームの中で自由に意思を伝えながら進めていきます。子どもの発達段階や特徴に合わせ、教師が課題を考えてその子独自の問題を考えることができます。
「～と言えば」 	・相手の話を聞かずに一方的に話すことが多い子どもや、言葉を知っているがそこからイメージが拡がり難い子ども達が、相手が伝えた言葉を聞いて、それに合った言葉をイメージし伝える力を高めることができます。	・当初は最初に出てきた言葉のイメージや自分が言いたいことに引きずられて、直前に相手が話した言葉と無関係な言葉を伝えることや、言葉が思いつかずに怒ってしまうことがありました。学習を進める中で、相手の言葉に合った言葉が考えられる、「わからないからヒントちょうだい」等伝えられるようになってきました。

１分間トレーニング （数字・文字・記号等） 	・集中力の継続。友達や教師を意識し、合わせる。相手が聞き取りやすい声の大きさやスピード等を調整する力を高める。相手が話したことを正しく聞き取り、適切に処理して応える力を高めることができます。	・友達や教師とペアで行います。活動開始当初、読み手は相手を見ずに自分のペースで読み進んでしまうことがあったり、聞き手は読み手が読み始めても知らないふりをしたり、相手の読むスピードに付いていけずに黙って困ったり怒り出すことがありました。活動開始前にそれぞれ目標を決めて、「相手が書くのを見ながら読む」「相手が分かりやすいようにゆっくり読む」「わからないときはもう一回いってください」と伝える等それぞれが気を付けることを意識して読むことで改善していきました。
コミュニケーションブック 	・自発的に要求や、教師とやりとりができます。	・一つのイラストカード（単語）を渡すだけでなく、二つ三つを組み合わせて、二語文、三語文で要求する学習にも活用できます。

環境の把握・身体の動き

名 称 及び 写 真	ねらい	使い方・アピールポイント等
しぼるん棒１号・２号 	・しぼるん棒１号により「絞る」動作を身につけるとともに、手首や腕の回内・回外の可動域を拡げる。さらに、しぼるん棒２号により「トルク（棒状の物体をねじる方向の力）をかける続けられる筋力の向上を目指します。また動作と回転の方向や色、時間を示す言葉等を関連付けながら指導することで基礎的な概念の形成も図ることができる。	・制作コストが安い！百均で手に入るもので作ることができます。 1 号：木製ねじ、ナット、強力接着剤、棒、ドリル 2 号：竹製水鉄砲、事故防止クッション材、強力接着剤 ・対象の生徒は手が汚れることに対する嫌悪感を持っているため、手触りの良い自然素材を活用。 ・トルクするためにかかる負荷や力のかけ具合をクッション材の弾性や印の位置により調節できます。

魚釣りパズルゲーム 	・イラストのマッチングだけでなく、各パズルのピースを釣って手にするという二重の楽しさを味わうことができます。	・パズルのピースはマグネットシートにカラーイラストを貼ったもの、釣り竿は割り箸と糸の先に丸磁石を付けたもの、土台はホワイトボードに白黒のイラストを貼ったもの。「パズルが好き」、「釣りが好き」の両方のニーズに応えた教材です。イラストを好きなものにすることでよりやりがいを感じることができます。釣り竿を使うことで手首の動きや、パズルのピースをくっつけるために手先を見て活動することができます。白黒にカラーのピースをはめていくので、難しいかもしれませんが、わかったところを手がかりに完成させていくことができます。 ・釣り竿を使わなければならないので、二重の活動があるがその分達成感を味わうことができます。
輪通し 	・手指の操作性の向上や見る、見比べる力の向上をねらってます。	・ペーパーフォルダーとアヒルの輪入れの輪を小さくなるにつれ内径が小さくなり、通す難易度が変わります。ヘアゴムも輪として使用し、柔らかいので持ち方を気をつけないと上手く輪を入れることができません。
ペグ差し 	・手指の操作性の向上や見る、見比べる力の向上をねらってます。	・アイスキャンディー容器や歯ブラシ立てを使用。歯ブラシ立てのペグに使っているのは、食用保存に袋を止めるものです。
文字を用いた学習 	・「見る力」①文字単語と絵を結びつける。②単語を構成する文字を選択し順番に並べるなど、「単語の視覚的な弁別力」を学習すると同時に、音韻意識や音韻抽出などの「聞く力」を学習しながら、見て聞きながら「覚える力」に繋げていきます。	・各パーツの裏にマジックテープが付いているため、複数の情報量からパーツを選択し、それを指で取り指定の場所に貼ってもずれ落ちず、付けたり外したりしながら様々な単語を繰り返し学ぶことができます。また、平仮名の書写はラミネートをしているため、ホワイトマーカーで反復練習ができます。

バスケットゴール 	・高さを調整することができるので、一人一人に合わせることができる。 ・上肢の動きが難しい生徒でも、自分でボールを入れる体験をすることができます。	・バックボードをつけて高さも調節できるようにしました。また、引っ張る力によってマグネットの強度を調整することができます。 ・運動会でも使用しました。
手の操作グッズいろいろ 	・手指の操作性、目と手の協応性を高めることをねらっています。	・フェルトの蛇は難易度が調整できます。色などで教師と野やりとりの場面も設定できます。 ・児童の好きなキャラクターで、モチベーションをもてるようにしています。 ・クリップの課題は力の加減を調整するねらいもあります。
ジオボード 	・簡単に準備することができ、見る力と手指の巧緻性を伸ばすことが期待できる課題です。	・市販のパンチングボードにペグを刺したボードを 2 カ所準備し、一方に見本の形(三角形、四角形等)をカラーゴムで表した物を掲示し、児童が同じ形を再現する課題です。
指先のトレーニングの課題 	・親指と人差し指の力を付けます。 ・一定時間集中することを目指します。	・わかりやすく取り組みやすいです。

環境の把握・コミュニケーション

名 称 及び 写 真	ねらい	使い方・アピールポイント等
マッチング・文字学習・マトリクス・数等の学習のための汎用カード 	・位置や空間把握力をつけることができます。 ・言葉の理解、発声、発音、言葉の表出を促すことができます。	・カードに厚みを持たせていることで操作しやすいです。 ・透明のケースを使用することで、マッチングからことばの作成へと段階的に取り組めるようになっています。

番外編

段ボール収納	材料：段ボール、ガムテープまたは養生テープ 強度や汚れ予防に周りに透明のテープ等でコーティング。	・収納としても使えることはもちろん、個人用に用意し課題を入れて置くことで児童生徒が自主的に自立活動に取り組むことができます。